

私的録音録画に関する実態調査報告

(詳細版)

2009年2月5日

社団法人 日本音楽著作権協会
社団法人 日本芸能実演家団体協議会
社団法人 日本レコード協会
社団法人 日本音楽事業者協会
社団法人 音楽出版社協会
社団法人 音楽制作者連盟
日本音楽作家団体協議会

これまで私的録音録画の実態や私的録音録画補償金制度について実施された実態調査の中でも、今回最も多くの回答が得られたことは、大変有意義なものとして評価しています。

去る2009年1月27日付で本アンケート結果の概要版を公表いたしました。詳細分析がまとまりましたので、公表させていただきます。

調査の概要

1 実施日

私的録音の実態調査	2008年12月19日（金）
私的録画の実態調査	2008年12月20日（土）
私的録音録画補償金制度の実態調査	2008年12月21日（日）

2 実施方法

ニコニコ動画が提供するニコ割アンケート※

※ニコニコ動画ユーザーを閲覧しているユーザーに対し、特定の時間（各日共午後9時で実施）に閲覧中の動画を同時に中断してアンケート回答を促す方法による。

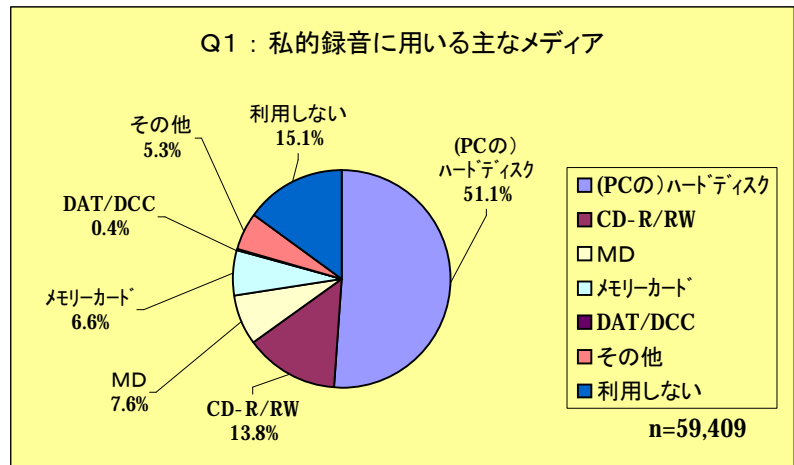
3 回答者数

私的録音の実態調査	63,523人
私的録画の実態調査	60,838人
私的録音録画補償金制度の実態調査	61,160人

※①ニコ割アンケートは複数回答は不可、②所定時間内に回答できなかった場合には無回答の設問部分が「回答しない」で集計される、③全問回答を義務付けているため「回答しない」という選択肢を設けた、ということ踏まえ、全ての設問で「回答しない」を選択した者の数を除いて集計し、設問ごとの有効回答数を「n」で表示した。

Q1. あなたは、保存用に音声や音楽をデジタル録音する際に、どのメディアを主に利用しますか。(音楽ファイルのダウンロードを録音に含みます)

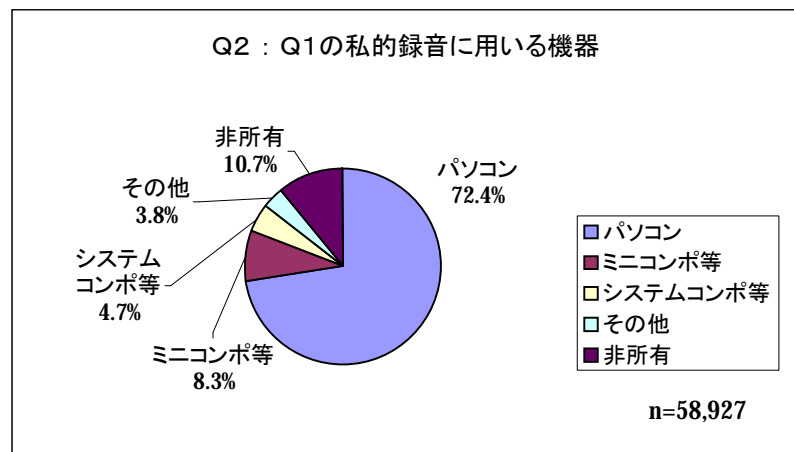
1. MD
2. CD-R/RW
3. (パソコンの)ハードディスク
4. メモリーカード
5. DAT又はDCC
6. その他
7. 利用しない



現行補償金制度の非対象機器を用いて私的録音する方と対象機器を用いてする方との比率は69.9%:14.9%(Q10を踏まえ、CD-R/RWは音楽用とデータ用を1:1と推定)であり、その差が4.7倍もあることがわかります。

Q2. あなたが、ひとつ前の設問のデジタル録音をするのに、主に利用する機器を教えてください。

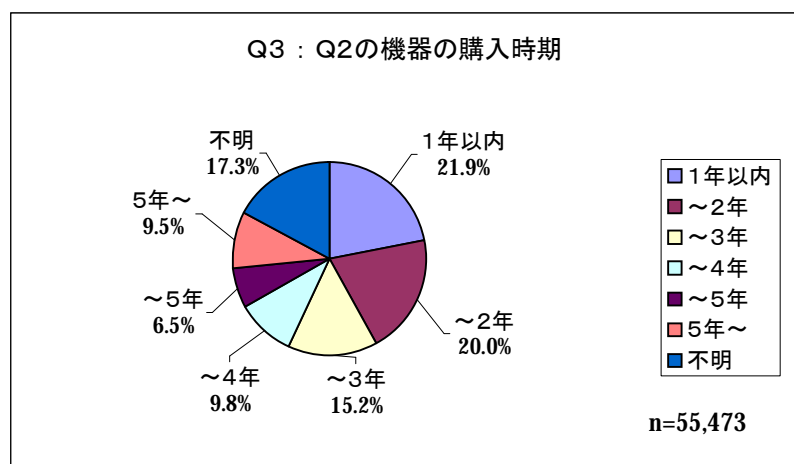
1. ミニコンポ・ラジカセ
2. ステレオ・システムコンポ
3. パソコン
4. その他
5. 持っていない



ミニコンポ等は、音楽CDのデジタルコピーを1世代に制限する著作権保護技術である「SCMS」が機能しますので、デジタル・コピーのコピーは作れませんが、今は72.4%の方がこの保護技術が働かないパソコンを用いて私的録音を行っていることがわかります。

Q3. ひとつ前の設問でお答えいただいた機器の購入時期を教えてください。

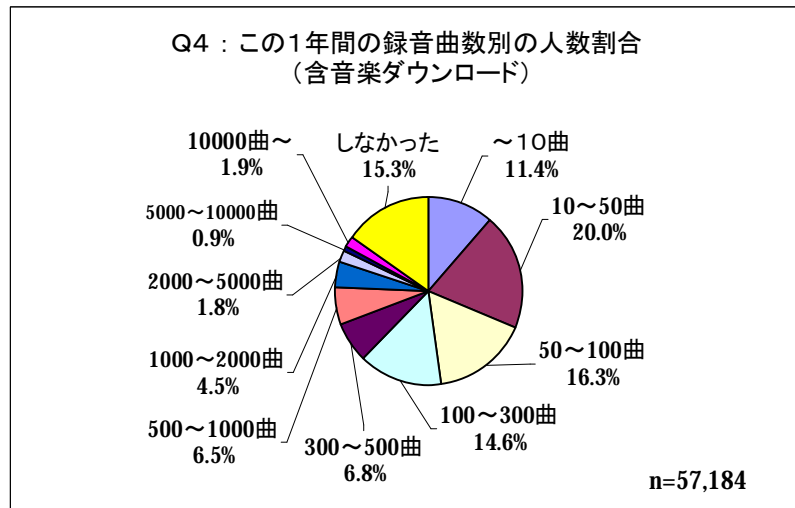
1. 1年以内
2. 1~2年以内
3. 2~3年以内
4. 3~4年以内
5. 4~5年以内
6. 5年より前
7. わからない



3年以内の新しい機種をお使いの方が半数以上を占めています。

Q4. この1年間で、およそ何曲録音しましたか。(音楽ファイルのダウンロードを録音に含みます)

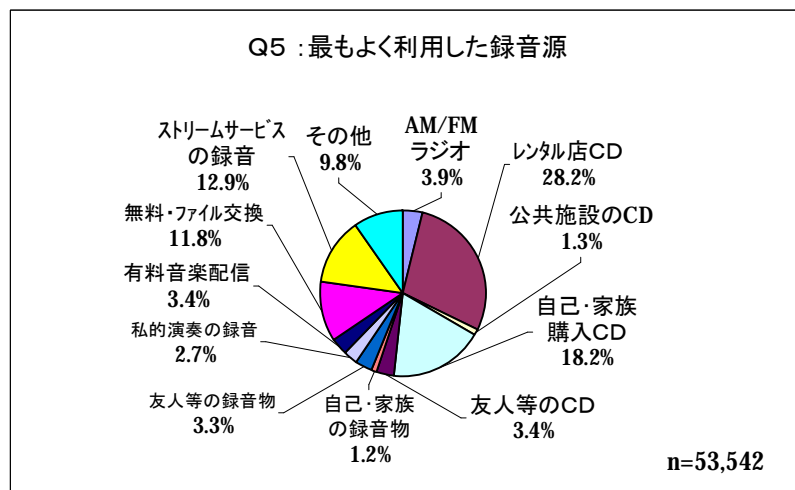
1. しなかった
2. 1～10曲
3. 10～50曲
4. 50～100曲
5. 100～300曲
6. 300～500曲
7. 500～1000曲
8. 1000～2000曲
9. 2000～5000曲
10. 5000～10000曲
11. 10000曲以上



全体では、「10曲～50曲」の方が20.0%と最も多いですが、300曲～5000曲までの方の合計も19.6%と、ほぼ同数であることがわかります。

Q5. 録音の際に最もよく利用した録音源を選んでください。

1. AM、FM、デジタルラジオから
2. レンタルショップで借りたCDから
3. 図書館などの公共施設から借りたCD等から
4. 自分や家族が購入した市販のCD、録音済みMD・テープから
5. 友人・知人から借りた市販のCD、録音済みMD・テープから
6. 自分や家族が録音した媒体 (MD、CD-R/RWなど) からの再録音
7. 友人・知人が録音した媒体 (MD、CD-R/RWなど) からの再録音
8. 自分や家族、友人、知人などの私的な音楽演奏などの録音
9. WEBサイト(携帯含む)の有料配信で購入した音楽ファイルから
10. WEBサイト(携帯含む)、ファイル交換から無料ダウンロード
11. 動画投稿サイトなどのストリームサービスから音声だけ録音
12. その他



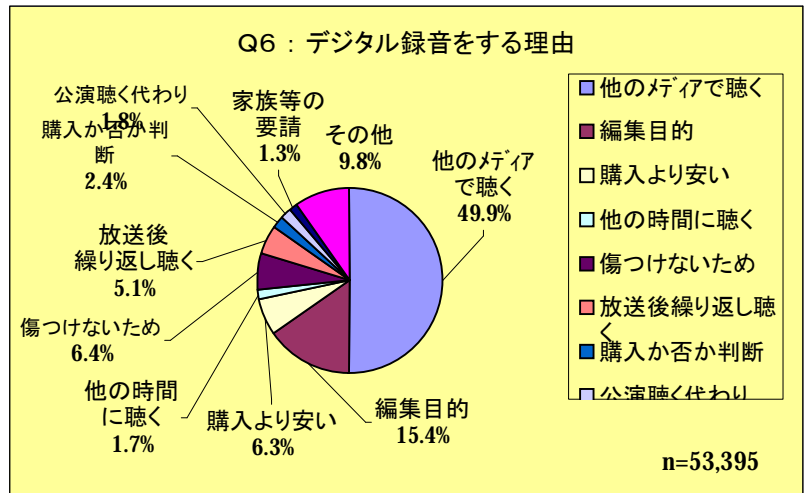
放送音源は3.9%、パッケージ(録音物)音源は55.6%であり、ノンパッケージ音源も28.1%あることがわかります。

また、「レンタル店から借りたCD」、「自己・家族所有の市販CD等」、「友人・知人から借りた市販CD等」が私的録音の録音源の主流です。このことは、平成18年度の文化審議会私的録音録画小委員会の調査資料と同じ傾向を示すものです。

([http://www.mext.go.jp/b menu/shingi/bunka/gijiroku/020/06101802/001.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/bunka/gijiroku/020/06101802/001.pdf))

Q6. あなたがデジタル録音をする理由についてお答えください。

1. 市販CDや録音済みテープなどに傷をつけないため
2. 携帯プレーヤーや車で聞かため
3. 好きな音楽だけを編集したCD-RやMDを作るため
4. 聴きたい放送番組を放送時間に聴くことができないため
5. 市販CDや録音済みテープを購入するより安くすむから
6. 放送で聴いた後に繰り返し聴くため
7. 市販CDや録音済みテープを自分で購入するかどうか決めるため
8. コンサート、公演などに行くかわりに
9. 家族や友人・知人に頼まれて
10. その他



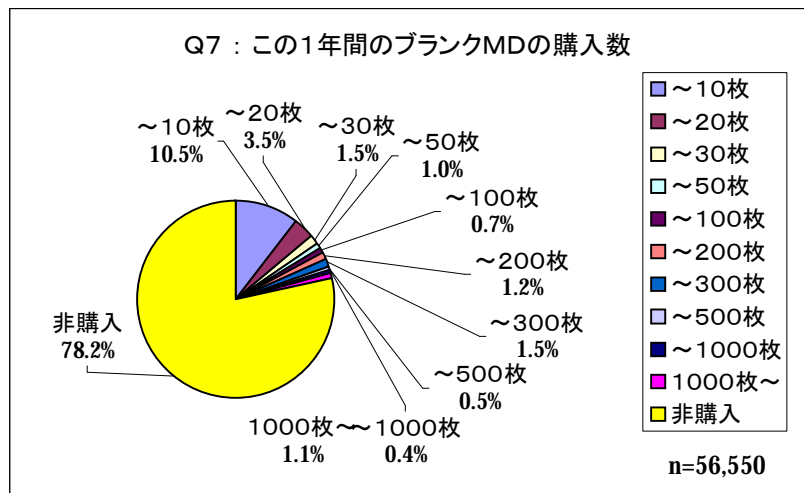
平成18年度の文化審議会私的録音録画小委員会の調査資料同様、「他のメディアで聴くため」「好きな音楽だけを編集するため」「購入より安くすむ」が私的録音の目的の主流です。

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/bunka/gjiroku/020/06101802/001.pdf)

「他のメディアで聴く」と回答した26,626人の方の65%がQ16で携帯音楽プレーヤーにコピーすると回答しており、このような利用形態が今日の主流であることを裏付けています。

Q7. この一年間にブランクの(生の)MDを何枚購入しましたか。

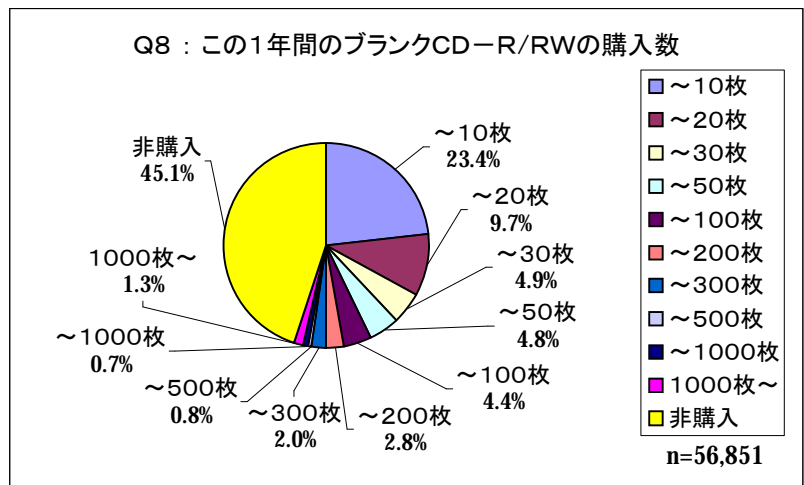
1. 買っていない
2. 1～10
3. 10～20
4. 20～30
5. 30～50
6. 50～100
7. 100～200
8. 200～300
9. 300～500
10. 500～1000
11. 1000枚以上



非購入が78.2%で10枚以下も10.5%と、MDを用いて私的録音をする方はかなり少ないことがわかります。

Q8. この一年間にブランクの(生の)CD-R/RWを何枚購入しましたか。

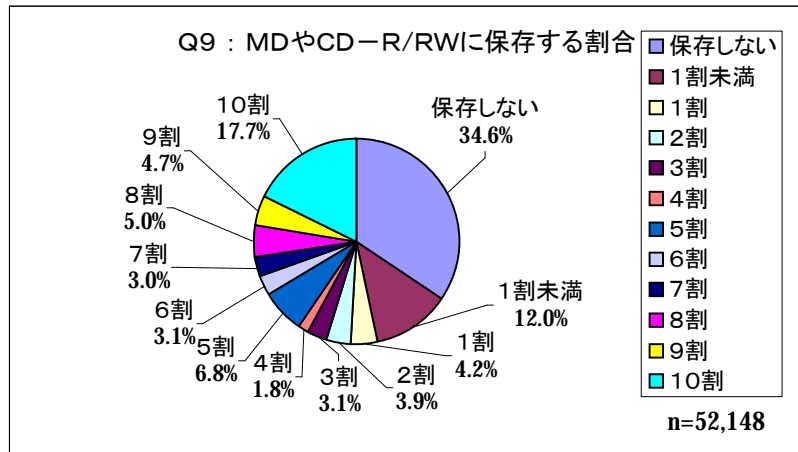
1. 買っていない
2. 1～10
3. 10～20
4. 20～30
5. 30～50
6. 50～100
7. 100～200
8. 200～300
9. 300～500
10. 500～1000
11. 1000枚以上



CD-R/RWには補償金が上乗せされた音楽用とされていないデータ用がありますが、いずれにかかわらず、購入しているが半数以上にのぼります。

Q9. それらのうち、重ねどりや消去をせず、録音した音楽を保存した割合はどの程度ですか。

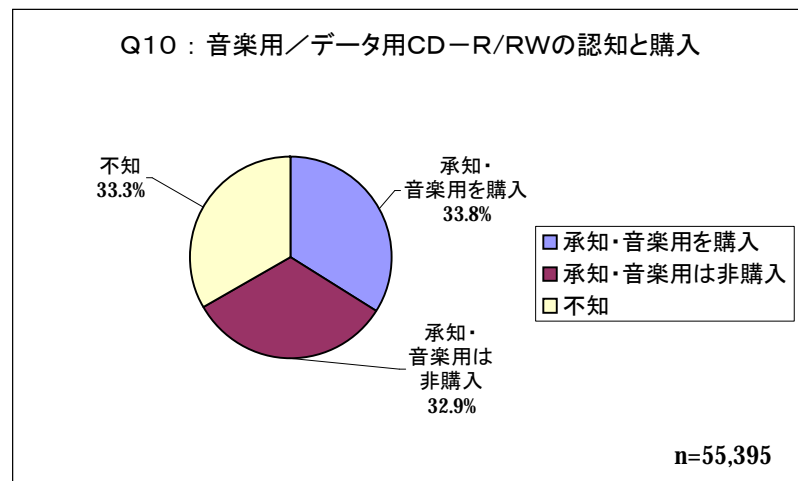
1. 保存しない
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



「保存しない」方は、Q8の「買ってない」方に相当すると考えられますので、やはり半数以上の方が購入したCD-R/RWに音楽を録音していることがわかります。しかも、そのうち17.7%の方が100%音楽用に用いています。

Q10. CD-R/RWには、音楽録音用とパソコン・データや写真記録用の2種類が販売されていることをご存知ですか。

1. 知っていた。音楽を録音するためには音楽録音用を購入している
2. 知っていた。でも、音楽録音用は購入しない
3. 知らなかった

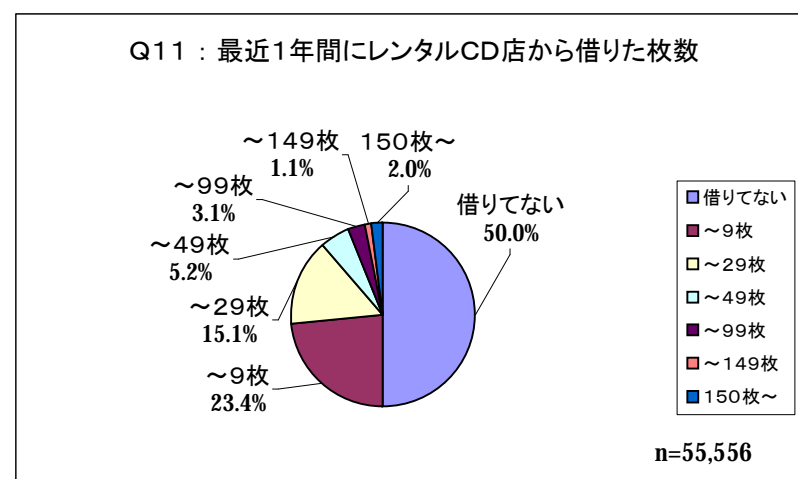


録音用とデータ用の違いがあることの認識率は66.7%と高く、音楽用と記録用の購入率がほぼ同じであることがわかります。

Q11. レンタルCDの利用状況についてお尋ねします。

最近1年間にレンタルCDを何枚借りましたか？(シングル、アルバムともに1枚と数えてください。)

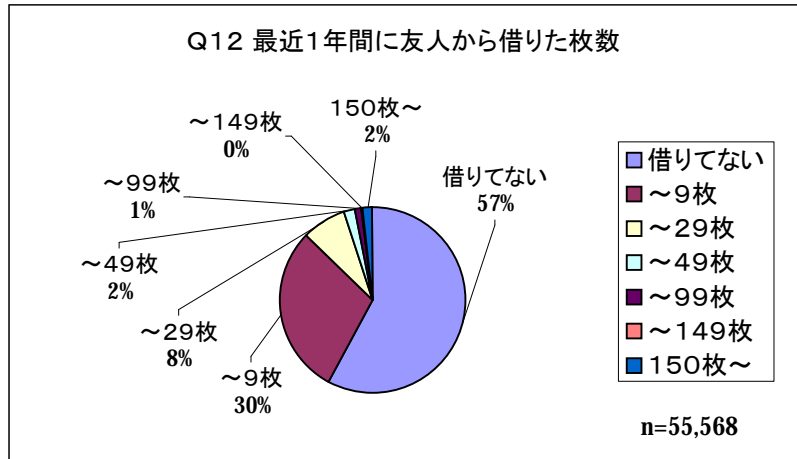
1. 借りてない
2. 1-9枚
3. 10-29枚
4. 30-49枚
5. 50-99枚
6. 100-149枚
7. 150枚以上



回答者の半数はレンタル店を利用していると回答しています。Q5で私的録音の主な録音源としてレンタル店から借りたCDを挙げている方が28.2%しかいないことを考えると、主な録音源とはしていないがレンタル店を利用している方がさらにほぼ同数近くおられることがわかります。

Q12. 友人からの貸し借りについてお尋ねします。最近1年間に友人からCDを何枚借りましたか？(シングル、アルバム、友人が録音したCD-R/RWもともに1枚と数えてください。)

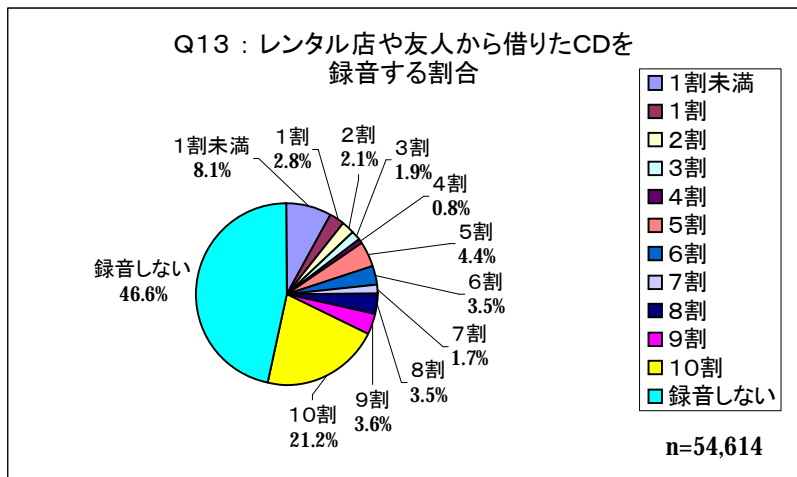
1. 借りていない
2. 1-9枚
3. 10-29枚
4. 30-49枚
5. 50-99枚
6. 100-149枚
7. 150枚以上



こちらも、Q5で私的録音の主な録音源として友人から借りたCDを挙げている方は6.7%であるのに対し、43%の方がCDや録音済CD-R/RWを借りていることがわかります。

Q13. レンタルCDや友人から借りたCDのうち、何割くらいをデジタル録音しましたか。

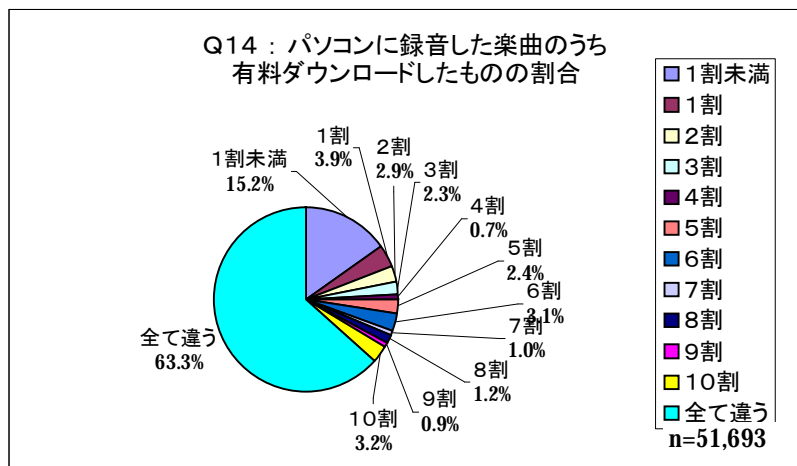
1. 録音しなかった
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



Q11、Q12とあわせてみると、主な録音源としていなくても、レンタル店や友人から借りたCD等から録音している方が半数を超えていることがわかりました。

Q14. 録音にパソコンを利用する方にお聞きします。最近1年間に録音した曲のなかで、有料でダウンロードしたのは何割程度ですか。

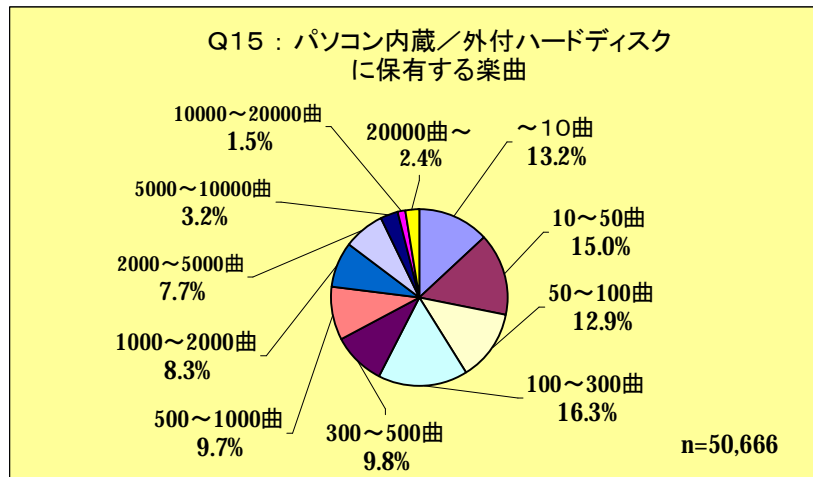
1. すべて違う
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



有料でダウンロードしたものは1曲も保存していない方が63.3%と多くを占めました。Q5においても、有料音楽配信は3.4%にとどまっています。

Q15.今現在、パソコンの内蔵ハードディスク、(あれば)外付けハードディスク全部あわせおよそ何曲ぐらい保存されていますか。

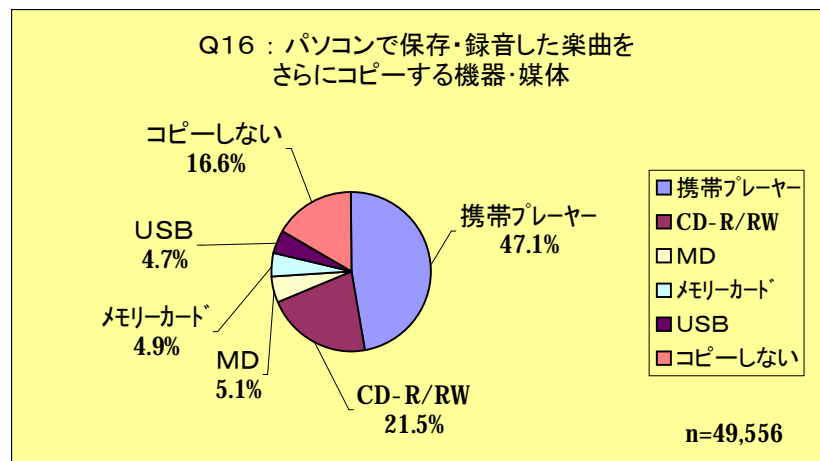
1. 1~10曲
2. 10~50曲
3. 50~100曲
4. 100~300曲
5. 300~500曲
6. 500~1000曲
7. 1000~2000曲
8. 2000~5000曲
9. 5000~10000曲
10. 10000曲~20,000曲
11. 20,000曲以上



保存曲数が100曲までの方が41.1%ですが、500曲以上保存している方も32.8%いることがわかります。年代別にみると、特に20代(26,110人、51.5%)は、保有曲数が100曲までの人が9,850人であるのに対し500曲以上保有する人も9,294人にのぼり、大量保有者の割合が高いことがわかりました。

Q16.パソコンで録音したり保存したりした音楽を、さらに下記の機器・媒体にコピーしますか。

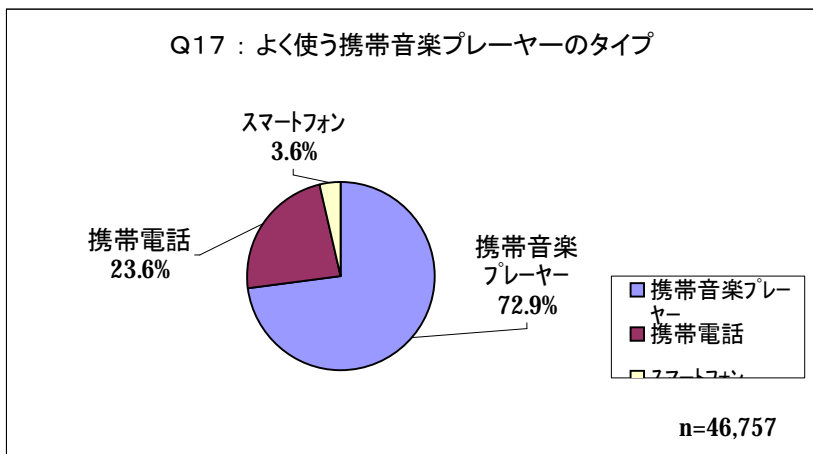
1. CD-R/RWにコピー
2. MDにコピー
3. 携帯音楽プレイヤー(携帯電話を含む)にコピー
4. メモリーカードにコピー
5. USBメモリーにコピー
6. パソコンのみで聴く(他の機器・媒体にはコピーしない)



今日の私的録音は、パソコンの楽曲を携帯音楽プレイヤーにコピーして楽しむことが主流であることがよくわかります。Q1で「パソコンのHDD」と回答した30,373人の方でも、58%の方が携帯プレイヤーにコピーすると回答しており、「コピーしない」は17.7%にとどまっています。なお、今回のアンケートは複数回答が出来ないため、パソコンに保有する楽曲を携帯音楽プレイヤーだけでなくCD-R/RWにもコピーするケースは反映されていません。

Q17.携帯音楽プレイヤー(携帯電話を含む)を利用している方にお聞きます。あなたが最もよくお使いになる携帯音楽プレイヤーは次のどのタイプですか。

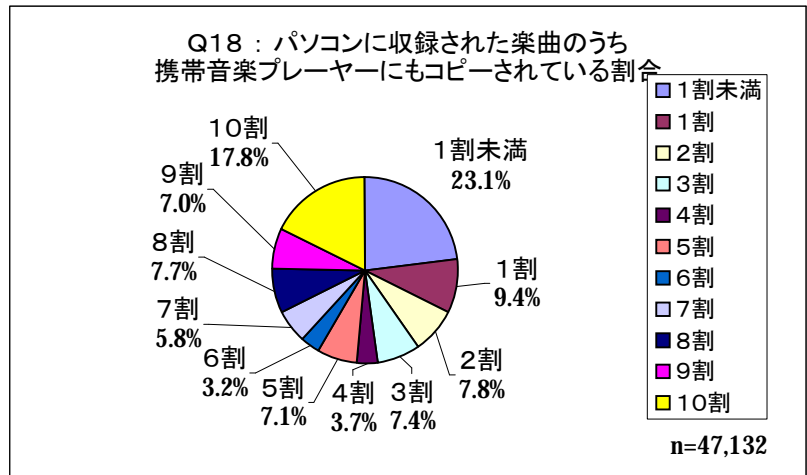
1. iPodやWalkmanなどの携帯音楽プレイヤー
2. 音楽ケータイなどの携帯電話
3. iPhoneなどのスマートフォン



やはり携帯音楽プレイヤーが主流ですが、携帯電話も少なからず携帯音楽プレイヤーとして用いられていることがわかります。

Q18.あなたが最もよくお使いになる携帯音楽プレイヤーには、パソコンにコピーされている曲の何割が常時コピーされていますか。

1. 1割未満
2. 1割
3. 2割
4. 3割
5. 4割
6. 5割
7. 6割
8. 7割
9. 8割
10. 9割
11. 10割

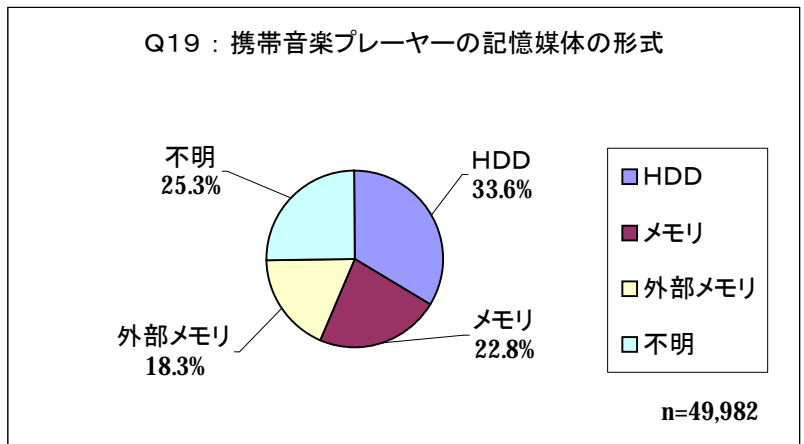


1割以下の方が32.5%である一方で、8割以上の方も32.5%いることがわかります。

Q15の保有曲数の回答とあわせてみると、携帯音楽プレイヤーにもコピーする割合が1割以下である14,044人の方では、保有曲数も100曲である方が58.4%を占めるのに対し、8割以上と回答した10,983人の方では、保有曲数が300曲以上の方が54.3%と、保有曲数が多い方のほうがより多く携帯音楽プレイヤーにコピーしていることがわかりました。

Q19.その携帯音楽プレイヤーで音楽を保存しているメモリの形式を教えてください。

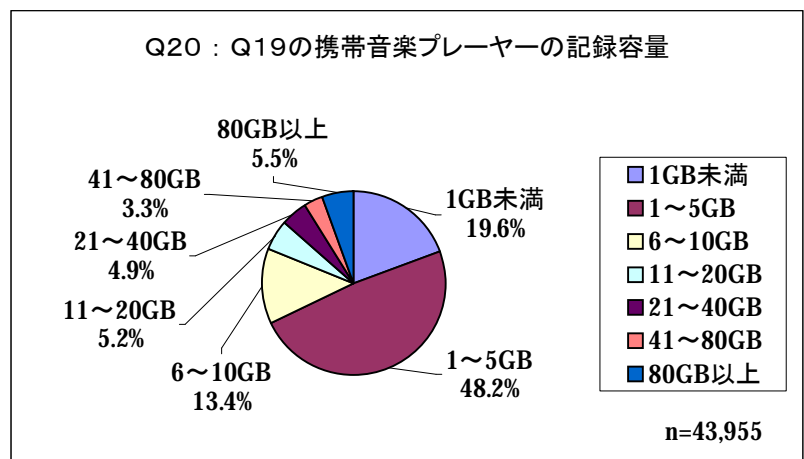
1. 内蔵型ハードディスク
2. 内蔵型フラッシュメモリ
3. カード型など外部メモリ
4. わからない



HDDタイプが1/4を超えて最も多く、メモリと外部メモリがこれに続いています。外部メモリが多いのは携帯電話を主に指しているものと考えられます。

Q20.その携帯音楽プレイヤーのメモリの記録容量を教えてください。

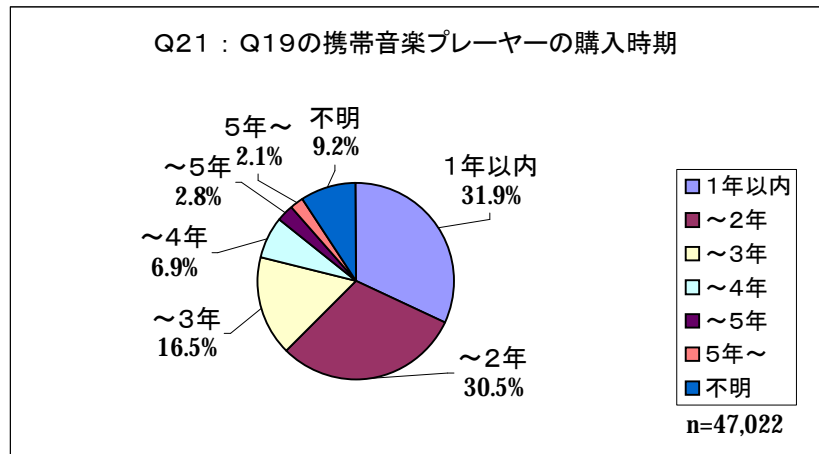
1. 1GB未満
2. 1GB～5GB
3. 6～10GB
4. 11～20GB
5. 21～40GB
6. 41GB～80GB
7. 80GB以上



1GB～5GBのタイプが5割近くを占め、最も普及していることがわかります。

Q21.その携帯音楽プレイヤーの購入時期を教えてください。

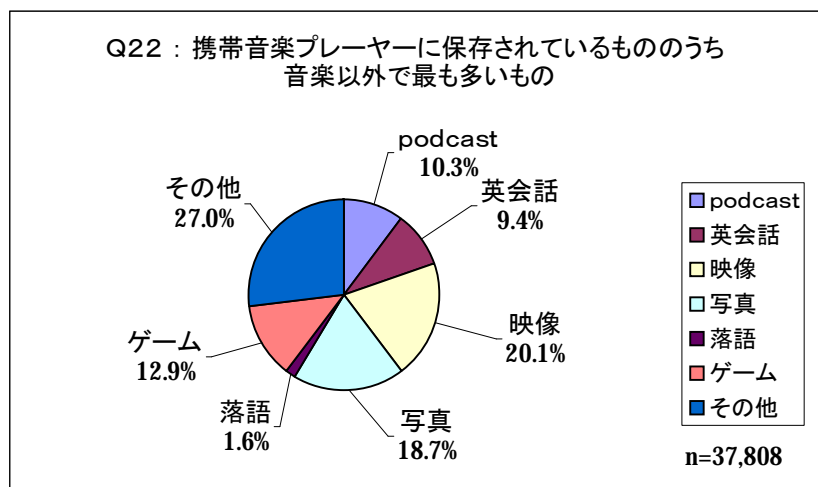
1. 1年以内
2. 1～2年以内
3. 2～3年以内
4. 3～4年以内
5. 4～5年以内
6. 5年より前
7. わからない



1年～3年の方が約6割を占めるように、携帯音楽プレイヤーの普及は最近のことであることを伺わせませす。

Q22.お使いの携帯音楽プレイヤーに保存されているものの中で、音楽以外で最も多いものを教えてください。

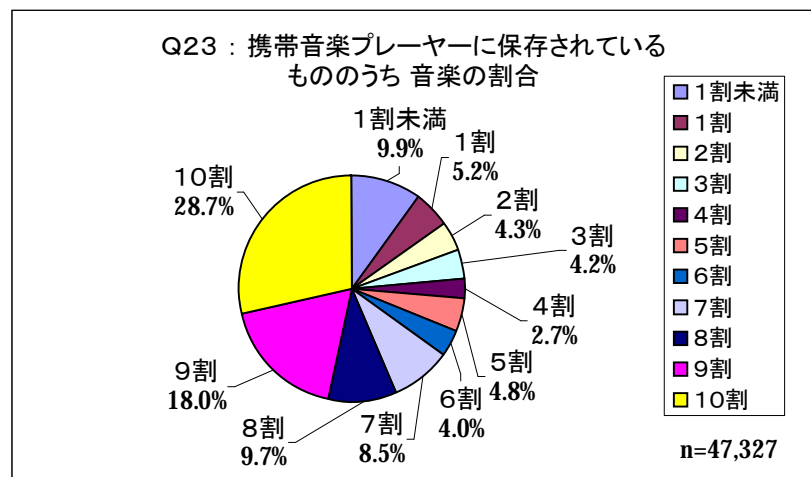
1. Podcast
2. 英会話
3. 映像コンテンツ
4. 写真
5. 落語
6. ゲーム
7. その他



携帯音楽プレイヤーを他の用途で用いる方が利用するコンテンツには、特に目立った傾向はみられませんでした。

Q23.お使いの携帯音楽プレイヤーに保存されているもののうち、音楽の割合を教えてください。

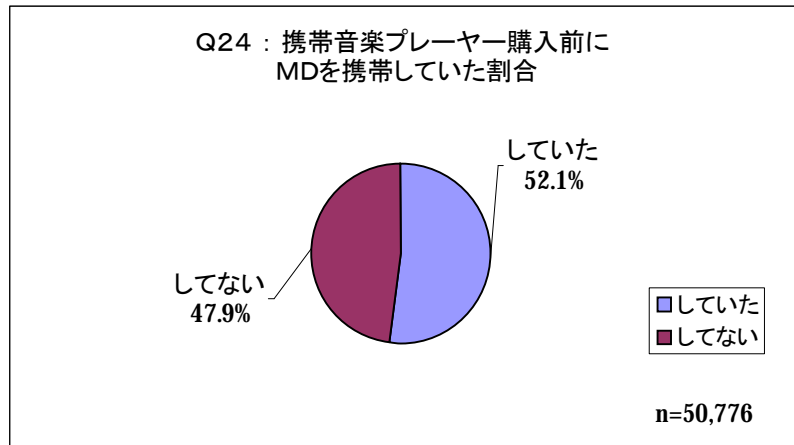
1. 1割未満
2. 1割
3. 2割
4. 3割
5. 4割
6. 5割
7. 6割
8. 7割
9. 8割
10. 9割
11. 10割



音楽が占める割合が7割以上と回答した方が、回答総数47,327人の55.2%であり、4割以下の方は26.4%でした。
これをQ20の携帯音楽プレイヤーの記録容量とあわせてみると、主流である1～5GBの所有者20,380人のうち70.3%の方が、7割以上を音楽が占めていると回答しています。

Q24携帯音楽プレーヤーの購入前にMDプレーヤーを携帯していましたか。

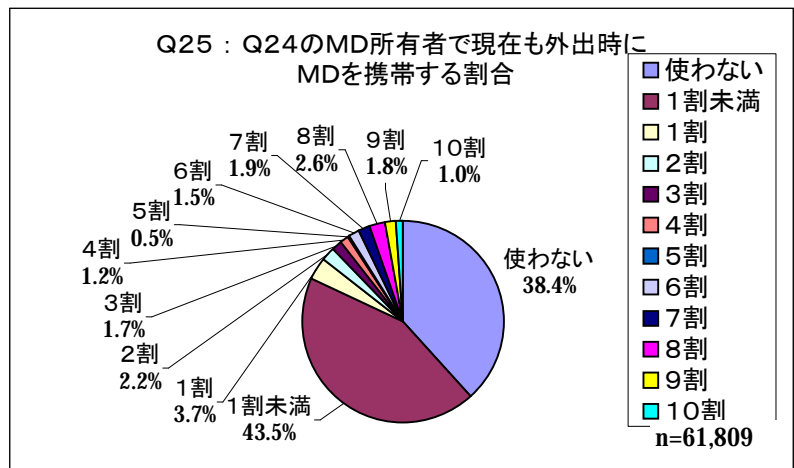
1. していた
2. していない



MDプレーヤーを携帯していない方の中には、携帯音楽プレーヤーを所有していない方も入っていると考えられますので、携帯音楽プレーヤーを実際に所有している方でMDプレーヤーを携帯していた方の比率はより高いと考えられます。

Q25.最後にMDプレーヤーを携帯されていた方にお聞きます。今、外出先などへ音楽を持ち出す際、MDプレーヤーを携帯する割合を教えてください。

1. 全く使わなくなった
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



1割以下が8割を超え、ここでもMDの市場淘汰の現象があらわれています。

- 今日の私的録音はパソコンをキーに行われるのが主流であることを踏まえ、パソコンに保有されている楽曲数(総体)を推計してみたところ、30代までのパソコン利用者に限っても、すでに239億曲を超えていることがわかりました。
 - 総務省の人口統計と、同じく総務省の「通信利用動向調査」にある個人のパソコンの利用率から30代まで(11歳以上39歳まで)の総利用人口を割り出し、Q2で「パソコンを利用する」、Q15で「回答しない」の割合を考慮してハードディスクへの複製者の総数を推計しました。
 - Q15のパソコンのハードディスクまたは外付けハードディスクの保有楽曲調査から年代別の平均複製曲数を算出し、これに上述のハードディスクへの複製者の総数を乗じて複製曲数を推計すると、239億曲を超えていました。
 - ちなみに、Q15の保有曲数は「〇曲～〇曲」という選択肢になっているため、各々の区分の最低値に基づいて計算しています(「501曲から1000曲」であれば501曲)。従って、算出された曲数は、実際よりも少ないのではないかと捉えています。
 - なお、10歳未満の回答者が少ないことから、これを除いてあります。

総務省「平成19年度通信利用動向調査」より抜粋

(1) インターネット利用者数及び人口普及率 (個人)

過去1年間にインターネットを利用したことのある人は推計で8,811万人に達し、前年に比べ57万人増(0.7%増)と微増。人口普及率は69.0%となった。

個人がインターネットを利用する際に使用する端末については、携帯電話等の移動端末での利用者が201万人増加(2.8%増)して推計7,287万人となったのに対し、パソコンからの利用者は、推計7,813万人と242万人の減少(3.0%減)。

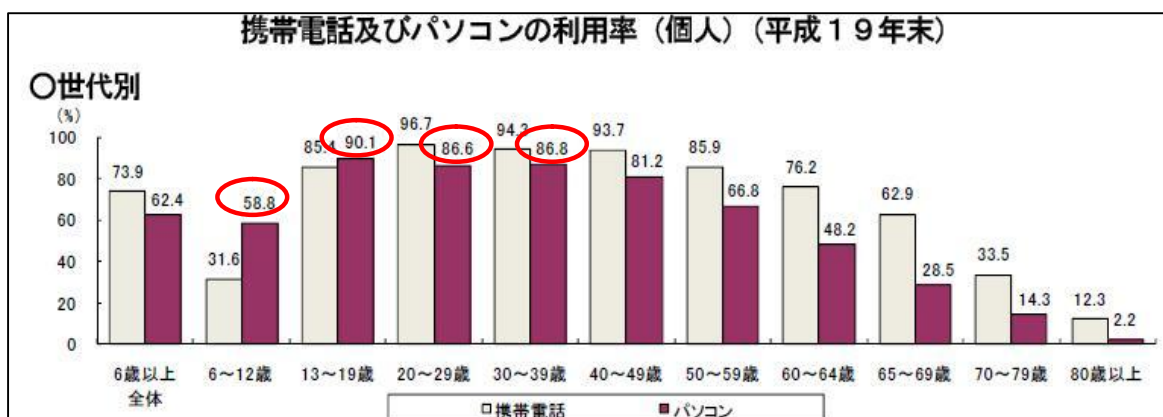
また、携帯電話等の移動端末のみでの利用者が前年から304万人増加(44.2%増)して推計992万人となる一方、パソコンのみでの利用者は158万人減少(9.7%減)し1,469万人となった。

(7) 携帯電話及びパソコンの利用率 (個人)

全体では、携帯電話の個人利用率(73.9%)がパソコンの個人利用率(62.4%)を11.5ポイント上回っているが、世代別に見ると6～12歳では大差でパソコン利用率が上回っている。

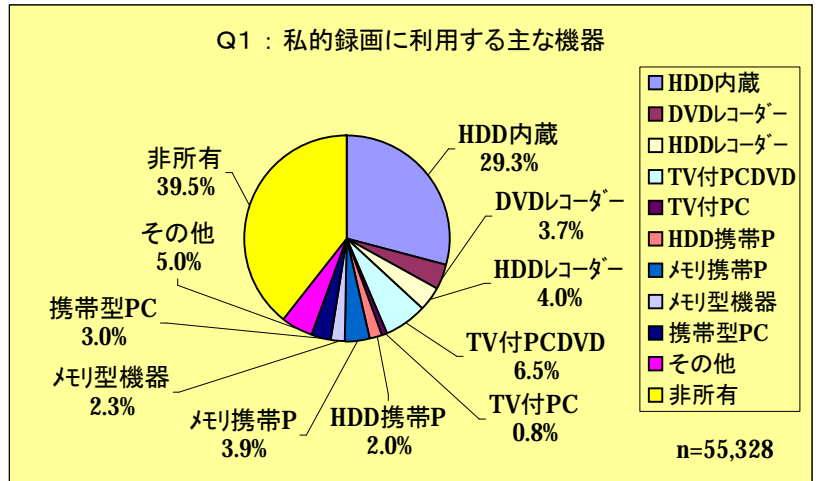
携帯電話の個人利用率は、20代～40代では9割を超えており、60代後半でも約6割。一方、パソコンの個人利用率は、13歳～40代では8割を超えるが、50代で66.8%、60代前半で48.2%、60代後半では28.5%に落ち込んでおり、操作に相應の知識が必要なパソコンは、携帯電話以上に世代間で格差が大きい。

地域別の携帯電話及びパソコンの個人利用率を見ると、南関東で80.6%及び71.5%と突出しており、これに対し東北は、それぞれ65.9%及び50.5%と15ポイント以上の格差が生じている。



Q1. あなたが主に利用するデジタル録画機器を教えてください。(映像ファイルのダウンロード保存を録画に含みます)

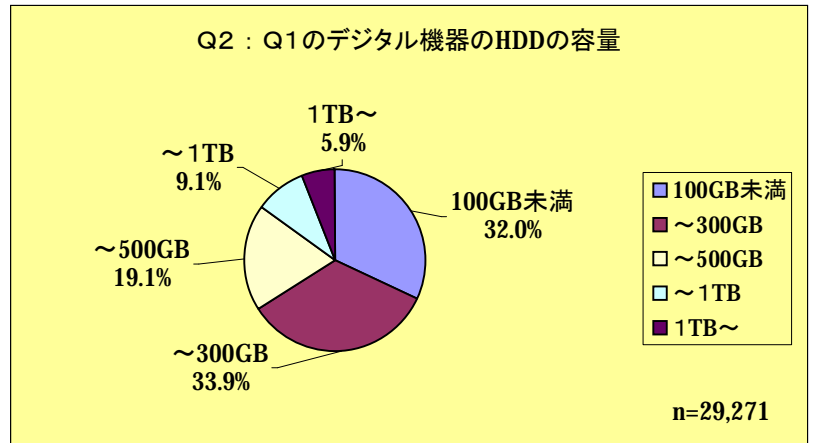
1. DVDレコーダ (HDD内蔵)
2. DVDレコーダ (HDDなし)
3. HDDレコーダ (DVDなし)
4. TVチューナー付きパソコン (DVD-R/RW/RAMドライブ付き)
5. TVチューナー付きパソコン (DVD-R/RW/RAMドライブなし)
6. ハードディスク内蔵型ポータブル機器
7. メモリー内蔵型ポータブル機器
8. メモリーカード型機器
9. 携帯型パソコン(スマートフォン含む)
10. その他
11. 持っていない



私的録画には多様なデジタル機器が利用されていることがわかります。

Q2. そのデジタル録画機器がハードディスク内蔵の場合、その容量を教えてください。

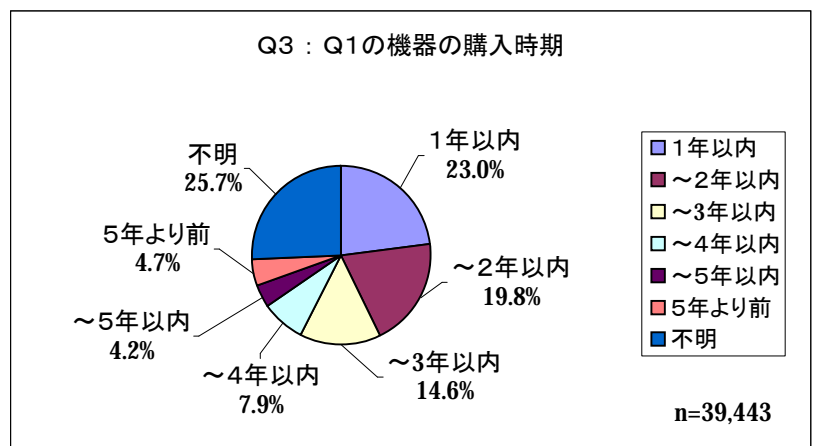
1. 100GB未満
2. 100~300GB
3. 301~500GB
4. 501GB~1TB
5. 1TB超



回答者の68%の方が、100GB以上の大容量のものを利用されていることがわかります。

Q3. ひとつ前の設問でお答えいただいた機器の、購入時期を教えてください。

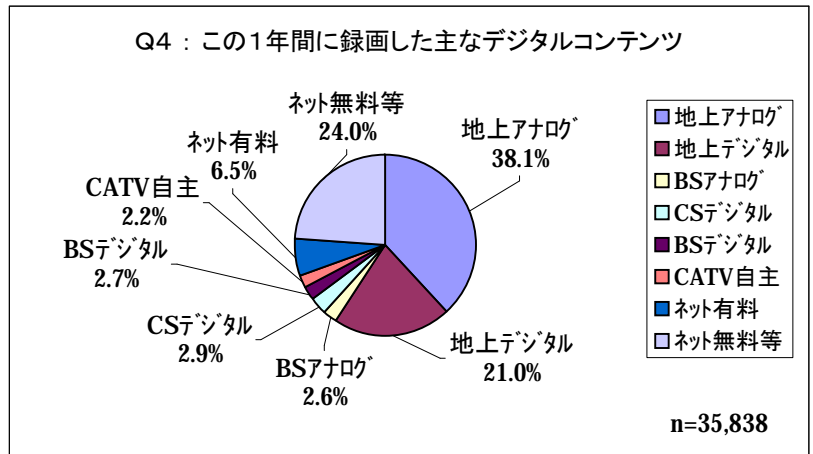
1. 1年以内
2. 1~2年以内
3. 2~3年以内
4. 3~4年以内
5. 4~5年以内
6. 5年より前
7. わからない



購入時期は、やはり3年以内の新しいものが中心で、半数以上を占めています。

Q4. 最近1年間、主にどのような映像コンテンツをデジタル録画しましたか。(映像ファイルのダウンロード保存を録画に含みます)

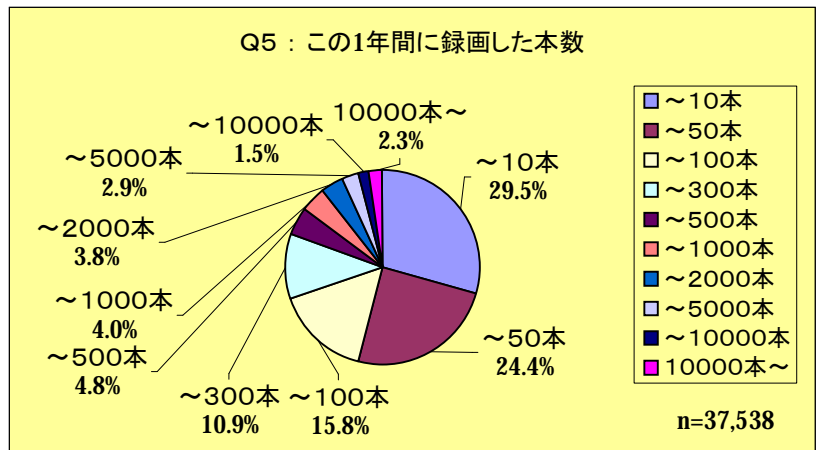
1. 地上アナログ放送(一般のテレビ放送)の番組
2. 地上デジタル放送の番組
3. BSアナログ放送の番組
4. CSデジタル放送の番組
5. BSデジタル放送の番組
6. CATV独自の番組
7. インターネット、携帯サイトで配信される有料コンテンツ
8. インターネット、ファイル交換、携帯サイトで無料で入手できる映像



無料の地上波放送が59.1%を占めており、ネット上の無料コンテンツも多いことから、無料のコンテンツが重要な録画源であることがうかがえます。

Q5. 最近1年間に何本録画しましたか。(映像ファイルのダウンロード保存を録画に含みます)

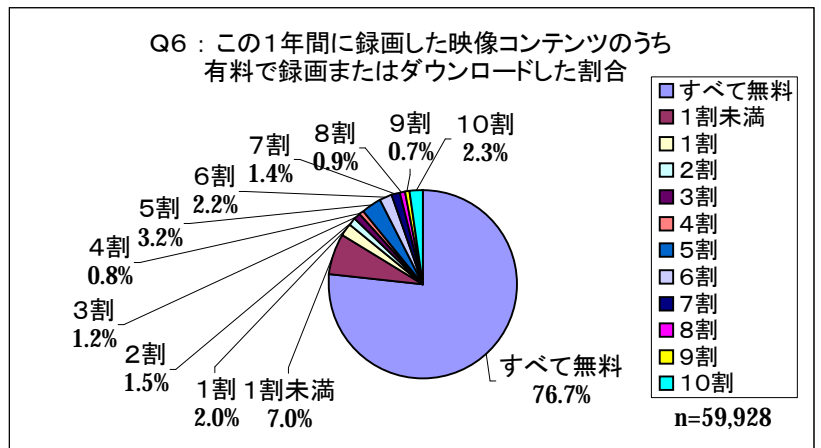
1. 1~10
2. 10~50
3. 50~100
4. 100~300
5. 300~500
6. 500~1000
7. 1000~2000
8. 2000~5000
9. 5000~10000
10. 10000本以上



回答者の46.1%の方が週1本以上、多い方は200本を超えて番組を録画していることがわかります。

Q6. それらのコンテンツの中で、有料で録画またはダウンロードした割合はどの程度ですか？

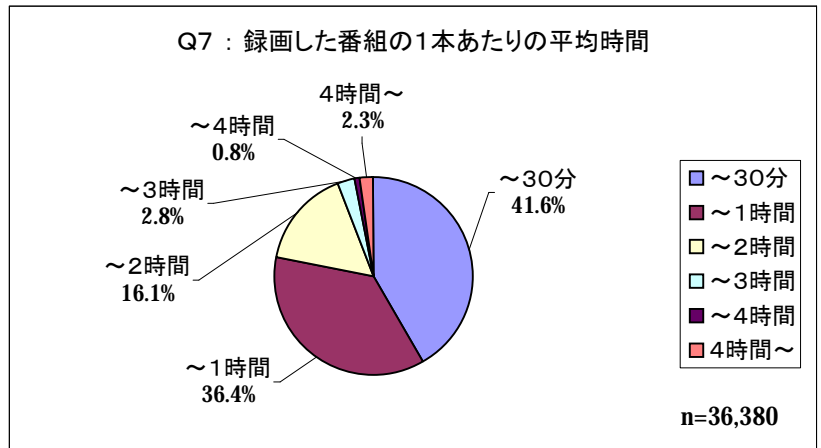
1. すべて無料
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



すべて無料と回答した方が76.7%を占めました。ここでも無料コンテンツの録画が主流であることがわかります。

Q7. あなたが録画した番組の1本あたりの平均時間を教えてください。

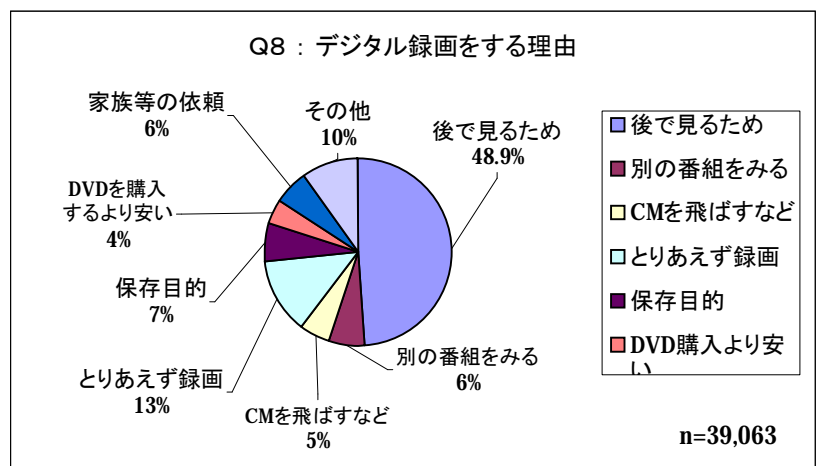
1. 30分以内
2. 1時間以内
3. 2時間以内
4. 3時間以内
5. 4時間以内
6. 4時間超



「~30分」「~1時間」「~2時間」で半数以上を占めています。これらはニュース番組、ドラマ、映画などの一般的な放送時間に相当しています。

Q8.あなたがデジタル録画をする理由についてお答えください。

1. 見たい番組の放映時間に見られない場合に後で見るため
2. 同じ時間帯に見たい番組が複数あるため
3. CMを飛ばしたり、興味があるところを再度見るため
4. 興味がある番組をとりあえず録画しておく
5. ドラマや映画を保存しておくため
6. DVDを購入するよりも安くすむから
7. 家族や友人・知人に頼まれて
8. その他



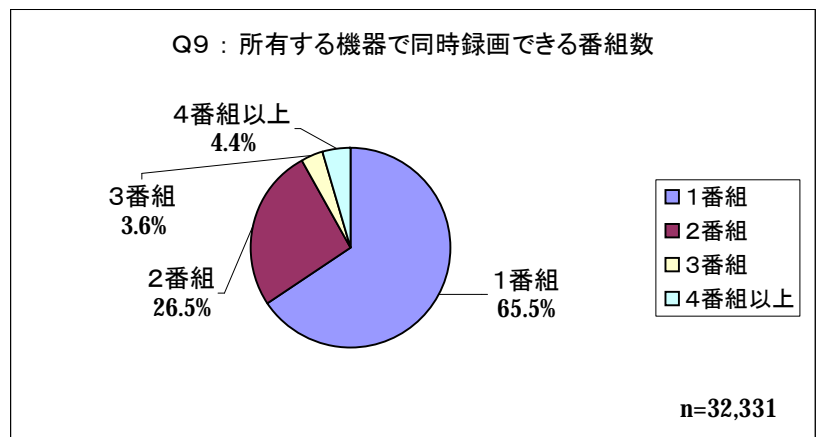
平成18年度の文化審議会私的録音録画小委員会の調査資料でも、「後で見るため」「別の番組を見る」「保存しておくため」との回答が多かったのですが、今回調査では「保存しておくため」については7%にとどまりました。

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/bunka/gijiroku/020/06101802/002/002.htm)

これは、今回調査では複数回答を受けることが出来ないなかで、「放映時間に見られないから後で見るため」を最も優先的な目的としている方が多かった結果であると考えられ、ここからは、そのうちどれだけを保存するかまでを読み取ることは出来ません。

Q9. お手持ちのデジタル録画機器やパソコンは、同じ時間帯に放送されている複数の番組を同時に録画できますか。同時に録画できる番組数をお答えください。

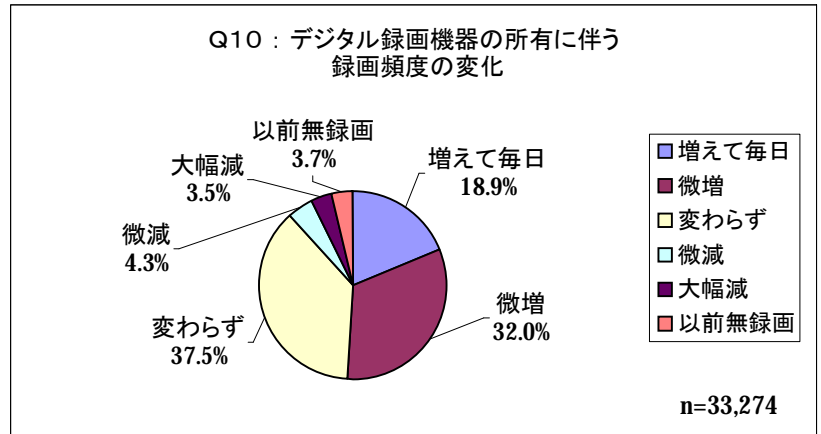
1. 1番組
2. 2番組
3. 3番組
4. 4番組以上



2番組以上を録画できる機器を所有する方も34.4%いることがわかります。

Q10. デジタル録画機器をお持ちになることによって録画の頻度は変わりましたか。

1. とても増えたほとんど毎日
2. どちらかといえば増えた
3. 変わらない
4. どちらかといえば減った
5. とても減った
6. デジタル録画機器を持つまえは録画していなかった

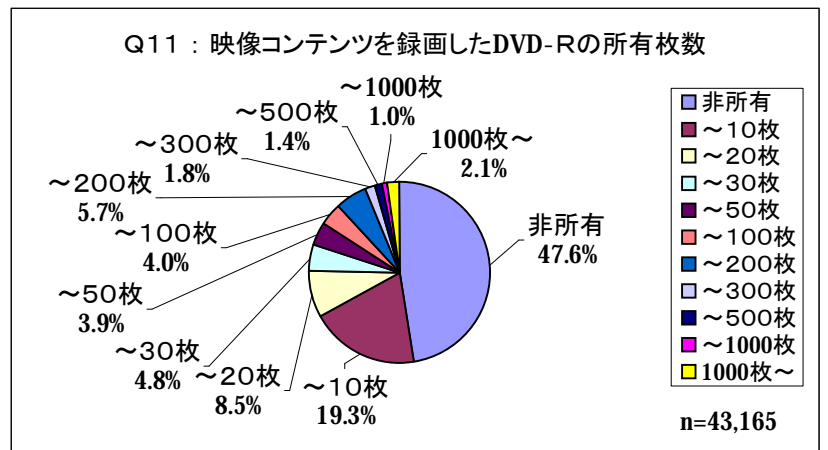


「どちらかといえば増えた」方を含めると、50.9%の方が録画頻度が増えていることがわかります。

Q5とあわせてみると、最近1年間の録画本数は、全体では「100本まで」と回答された方が69.7%を占めました。一方、「増えて毎日」の方の68.8%、「どちらかといえば増えた」方では54.9%が、最近1年間の録画本数が「100本以上」と回答しています。

Q11. ご自分で映像コンテンツを録画したDVD-R(1回記録型)を何枚お持ちですか。(ブルーレイディスクもお持ちの方は合算してください)

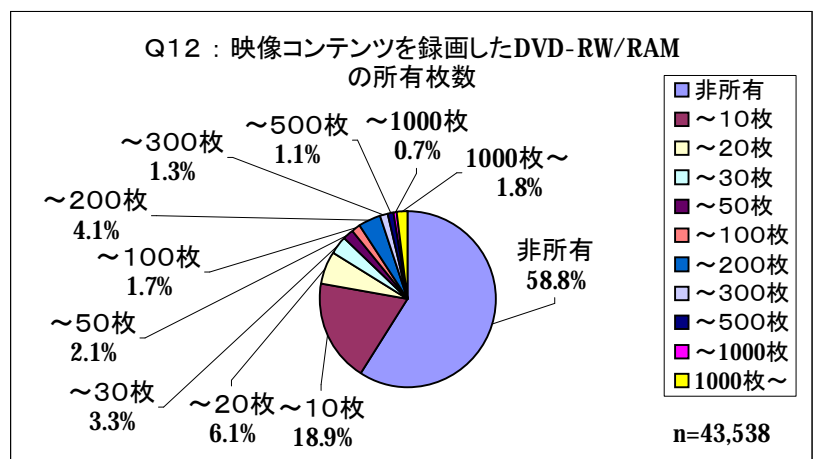
1. 持っていない
2. 1~10
3. 10~20
4. 20~30
5. 30~50
6. 50~100
7. 100~200
8. 200~300
9. 300~500
10. 500~1000
11. 1000枚以上



半数以上の方がDVDで番組を保存した実績があることがわかります。

Q12. ご自分で映像コンテンツを録画したDVD-RW(書き換え型)を何枚お持ちですか。(ブルーレイディスクもお持ちの方は合算してください)

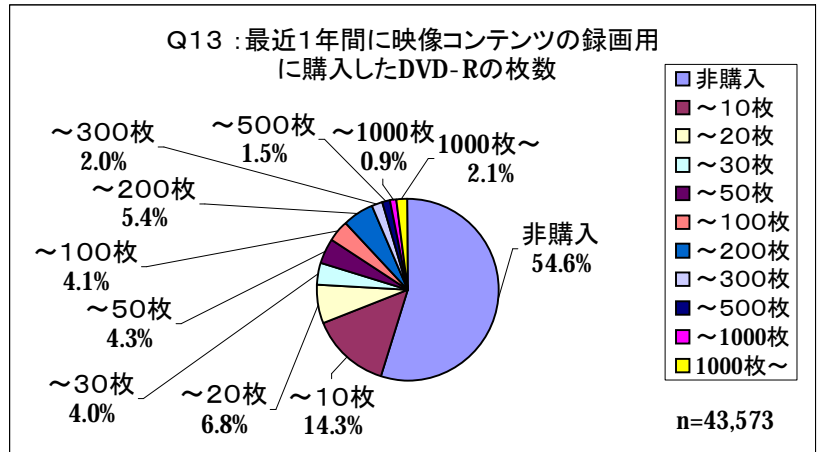
1. 持っていない
2. 1~10
3. 10~20
4. 20~30
5. 30~50
6. 50~100
7. 100~200
8. 200~300
9. 300~500
10. 500~1000
11. 1000枚以上



Q11の1回記録型に比べて書き換え型ディスクの保有率が低いのは、やはりDVDディスクは番組の保存のために用いる傾向が強いことのアラわれであると考えられます。

Q13. 最近1年間で映像コンテンツの録画用に何枚のブランク(生の)DVD-R(1回記録型)を購入しましたか。(ブルーレイディスクもお持ちの方は合算してください)

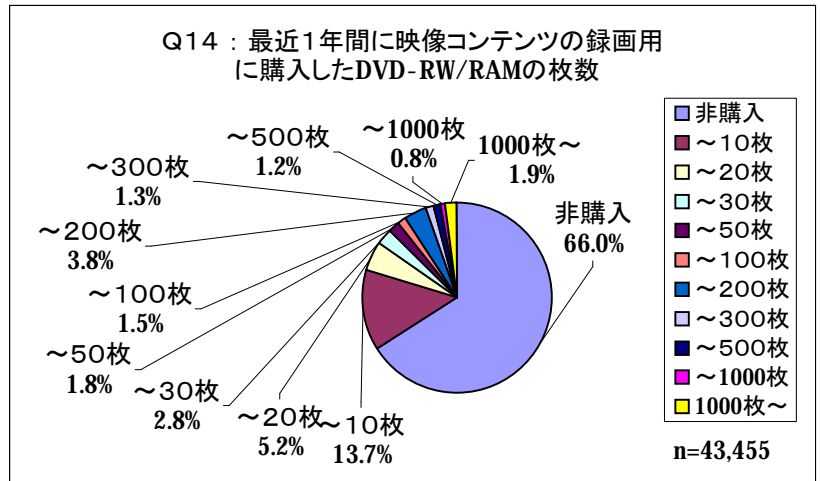
1. 購入していない
2. 1~10
3. 10~20
4. 20~30
5. 30~50
6. 50~100
7. 100~200
8. 200~300
9. 300~500
10. 500~1000
11. 1000枚以上



所有割合と比べて購入割合が減少していることには、HDDの大容量化が影響しているものと考えられま

Q14. 最近1年間で映像コンテンツの録画用に何枚のブランク(生の)DVD-RW/RAM(書き換え型)を購入しましたか。(ブルーレイディスクもお持ちの方は合算してください)

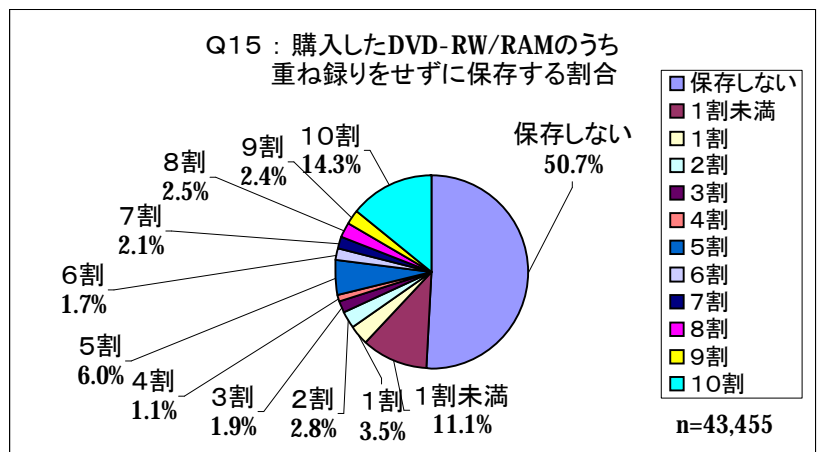
1. 購入していない
2. 1~10
3. 10~20
4. 20~30
5. 30~50
6. 50~100
7. 100~200
8. 200~300
9. 300~500
10. 500~1000
11. 1000枚以上



Q12, Q13で読み取れた結果が、ここにもあらわれているようです。

Q15. 購入したDVD-RW/RAM(書き換え型)のうち、重ねどりや消去をせず、録画した映像を保存する割合はどの程度ですか。(ブルーレイディスクもお持ちの方は合算してください)

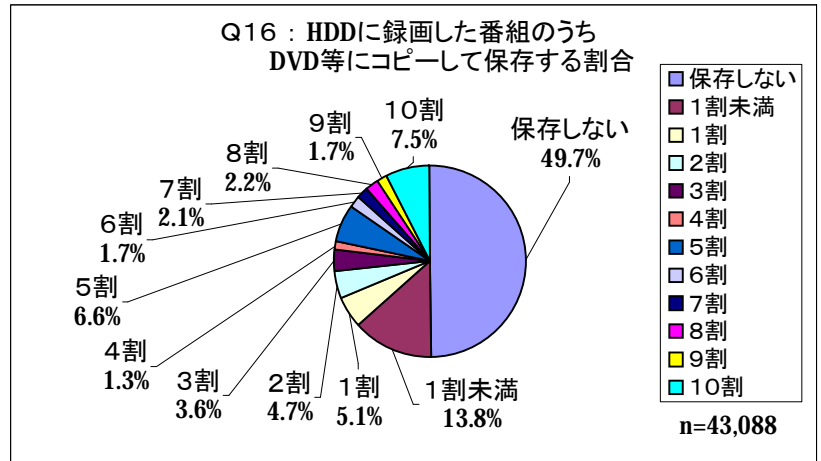
1. 保存しない
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



49.3%の方は、書き換え型のディスクであっても番組の保存に利用している実態がうかがえます。

Q16.HDDに一度録画した番組のうち、DVD等のディスクにコピーして保存する番組はどのぐらいの割合ですか。

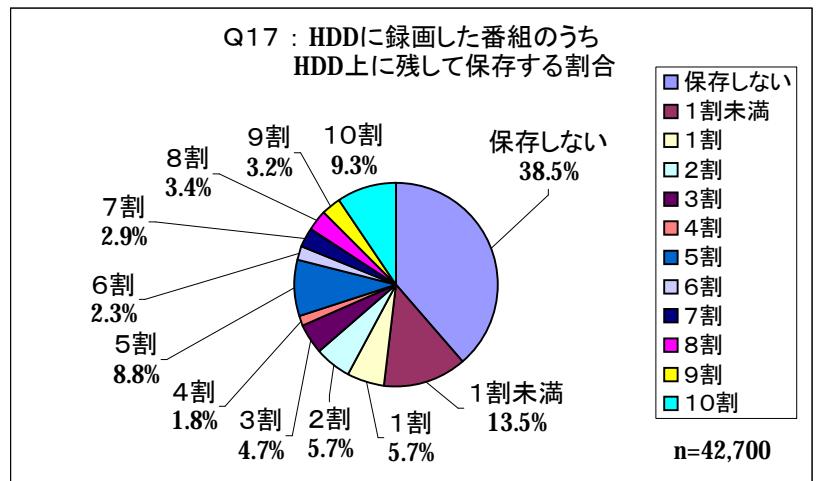
1. 保存しない
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



DVDに移して番組を保存する方と移して保存しない方が、ほぼ半分に分かれてきました。HDDの大容量化によってDVDに保存する必要が無くなくなっていることも考えられます。

Q17.HDDに一度録画した番組のうち、消さずにそのままHDD上に置いておく番組はどのぐらいの割合ですか。

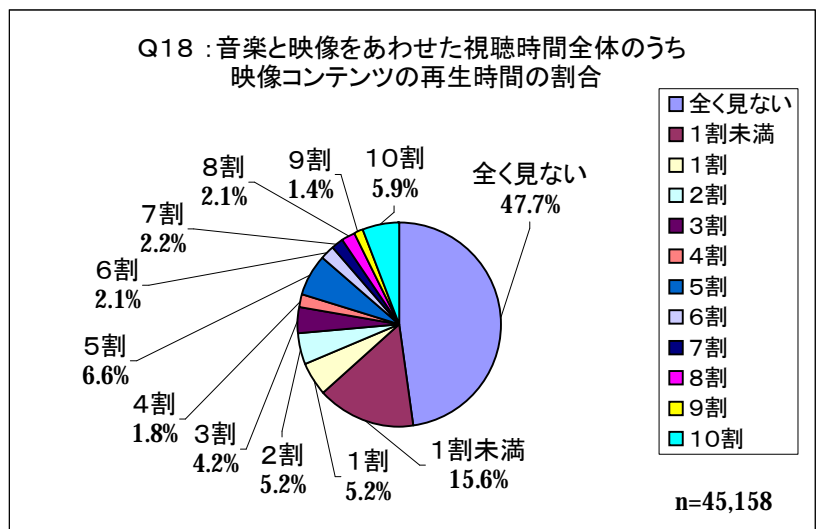
1. 保存しない
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



Q8で「後でみるため」と回答した人のうちQ17で「保存しない」と回答した方は全17,290人の36.1%にとどまり、逆に、5割以上をHDD上で保存する方が24.1%いることがわかりました。HDDも番組の保存のために用いられている実態がうかがえます。

Q18.最後に携帯音楽プレイヤーや携帯電話について伺います。それらには、音楽を聴く他に映像コンテンツを見る機能がついていますが、映像を見る時間は、音楽と映像をあわせた視聴時間全体の何割程度ですか。

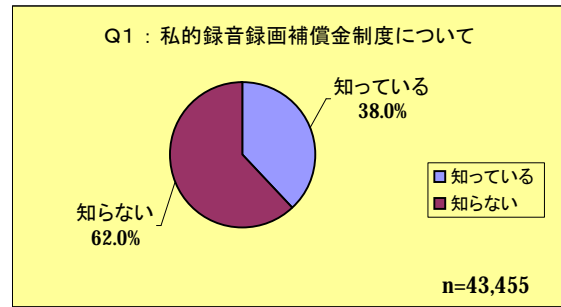
1. 映像は全く見ない
2. 1割未満
3. 1割
4. 2割
5. 3割
6. 4割
7. 5割
8. 6割
9. 7割
10. 8割
11. 9割
12. 10割



携帯音楽プレイヤーでは、やはり47.7%の方が映像コンテンツを見ない一方で、少なからず映像コンテンツを見る方もいるということで、録音・録画のいずれにも用いられている傾向がうかがえます。

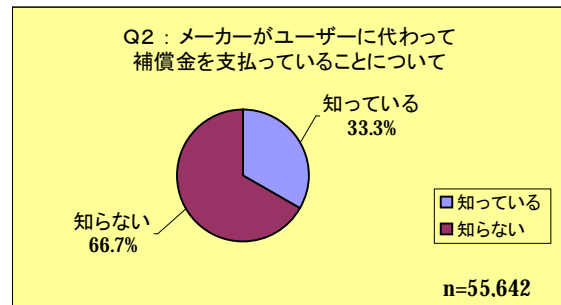
Q1. デジタル方式で行う私的録音録画には、著作者やアーティスト、レコード製作者等(以下「クリエイター等」)への補償金の支払が必要であることを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない



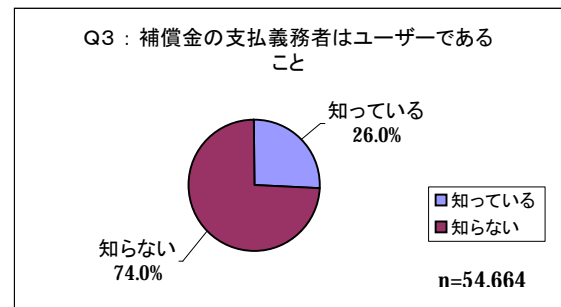
Q2. 現状では、権利者への補償金は、機器や媒体の価格に上乗せされており、それらのメーカーがあなたに代わってクリエイター等に対して支払っていることを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない



Q3. それら補償金の支払い義務が、法律上あなたにあることをご存知でしたか。

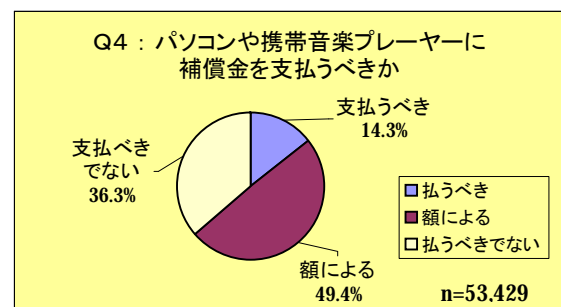
1. 知っている
2. 知らない



私的録音録画補償金制度に関する質問(Q1～Q3)では、制度の認識がおよそ1/3にとどまっている現状がわかります。

Q4. 今日では、パソコンや携帯音楽プレーヤーなど、大容量の機器を用いて私的録音録画が行われています。これらもデジタル方式の録音録画機器であるので、従来のMDやDVDと同様に、クリエイター等に補償金を支払うべきだと思いますか。

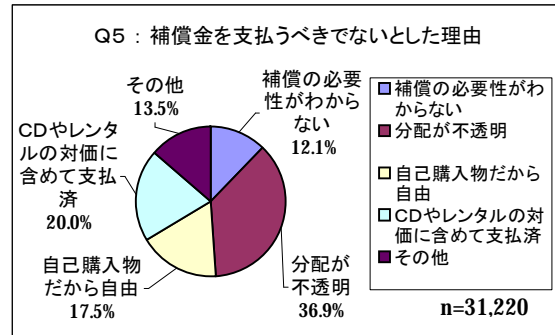
1. 支払うべきである
2. 支払っても良いが、払う金額による
3. 支払うべきとは思わない



「支払うべき」「額による」と回答した方が63.7%であり、ユーザーの方には補償金制度の必要性を一定程度ご理解いただいていることがわかります。

Q5. ひとつ前の設問で、支払うべきとは思わないと答えた方は、理由は次のうちどれですか。

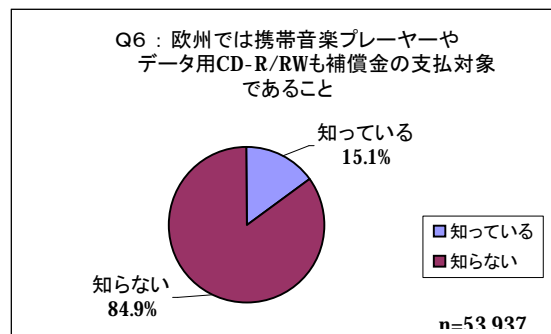
1. 補償金の必要性がわからない
2. 分配が不透明
3. 自分が買ったものなのだから自分の自由であるはず
4. CDの価格やレンタル代にコピー代も含まれている
5. その他



あえて用意した1~4の選択肢は、いずれも誤解に基づくものであり、適当ではありません。さらに理解を深めていただくべく、設問の回答結果を参考にこうした誤解を解消する努力をしていきたいと考えます。

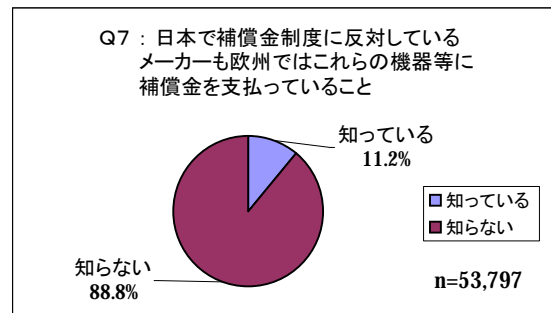
Q6. ヨーロッパでは、多くの国で携帯音楽プレーヤーや、データ用CD-R・DVD-Rなどが補償金の支払対象となっていることをご存知でしたか。

1. 知っている
2. 知らない



Q7. 日本では補償金制度に反対しているメーカーが、ヨーロッパでこれらの機器等を販売する際、補償金を支払っていることをご存じでしたか。

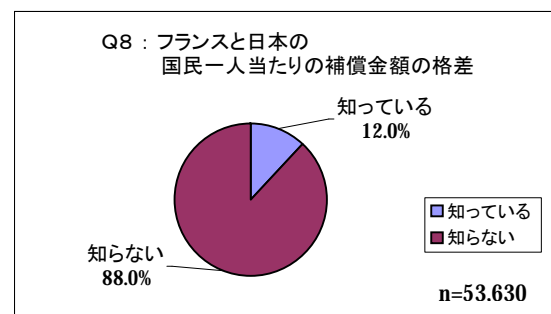
1. 知っている
2. 知らない



Q8. こうした事実により、例えば、フランスでは国民一人あたりの年間の補償金負担額は400円ほどですが、日本では28円ほどです(2007年度)。

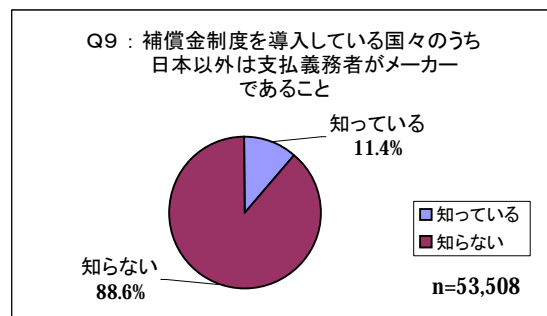
国によってクリエイター等に還元される補償金の額に大きな違いがあることをご存じでしたか。

1. 知っている
2. 知らない



Q9. また、補償金制度のある国々では、日本以外すべて、法律上の補償金支払い義務者がメーカーや輸入業者であることをご存知でしたか。

1. 知っている
2. 知らない



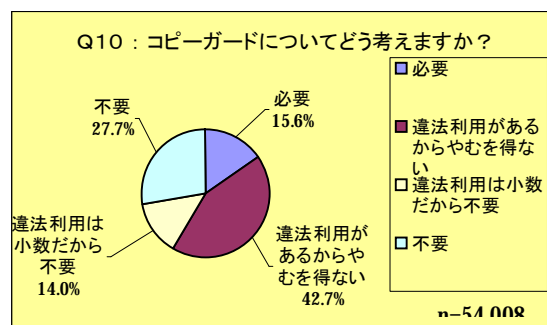
海外の状況を交えた質問(Q6～Q9)では、80～90%の方が「知らない」と回答しました。携帯音楽プレーヤーを補償金の支払対象としている国は、ドイツ、フランス、イタリア、スペインほか15カ国あり、データ用CD-R/RWを補償金の支払対象としている国も、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、カナダのほか20カ国あります。

また、国民一人あたりの私的録音録画補償金の支払額を比較すると、フランス 444円、ドイツ314円、イタリア202円、オランダ198円、スペイン149円であるのに対し、日本はわずか22円にとどまっています。

Q10. 著作権保護技術(コピーガード)は、コピーが簡単なデジタルの世界では、違法な利用を防止する重要な役割があると、クリエイター等は考えています。

あなたは、コピーガードについてどのようにお考えですか。

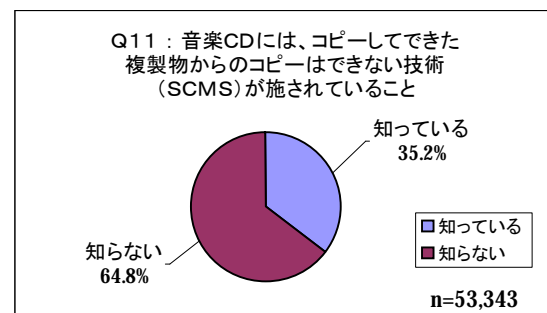
1. 必要
2. 違法利用する人がいるのであってもやむを得ない
3. 違法利用する人は多数ではないので不要
4. 不要



「必要」「違法利用があるからやむを得ない」と回答した方が58.3%であり、ユーザーの方にはコピーガードの必要性を一定程度ご理解いただいていることがわかります。

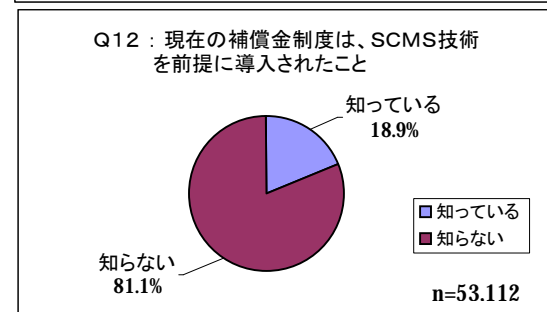
Q11. 音楽CDには、1世代目のコピーは何枚でも作れますが、コピーしたものからのコピーは作れない、という著作権保護技術(SCMS)が当初から施されていることをご存知ですか。

1. 知っている
2. 知らない



Q12. 現在の補償金制度は、この音楽CDの著作権保護技術を前提として導入されたことをご存知ですか。

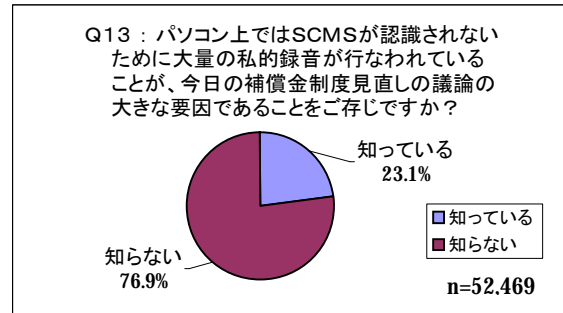
1. 知っている
2. 知らない



補償金の支払対象機器に指定されているDATの販売にあたり、当時の通産省が、デジタルコピーによる権利者の被害の拡大を防ぐためにSCMS(Serial Copy Management System)を採用するよう各メーカーに通達を出しました。その後に発売されたCDレコーダーやMDにもこの方式が採用され、私的録音補償金制度も導入されました。

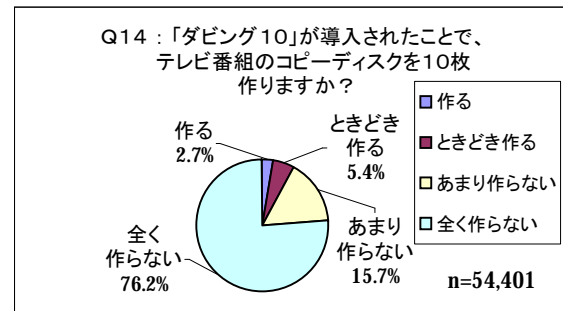
Q13. MDではこの著作権保護技術が有効でしたが、パソコン上では事実上無効となり、デジタルによる私的録音クリエイター等の想像をはるかに超える量になってしまったことが、現在の補償金制度を見直す動きの大きな要因であることをご存知でしたか。

1. 知っている
2. 知らない



Q14. こうしたことを防ぐために、デジタル放送の分野では、「ダビング10」というルールが消費者、メーカー、クリエイター等、放送事業者の合意として導入されました。これは、録画したテレビ番組を10枚のDVDやブルーレイ・ディスクにコピーすることができるというものです。あなたは、ふだんテレビ番組のコピーディスクを10枚作りますか。

1. 作る
2. ときどき作る
3. あまり作らない
4. 全く作らない



「全く作らない」「あまり作らない」の合計が91.9%でした。

「ダビング10」があってもユーザーの動向には殆ど影響を及ぼしていないことがわかります。